

令和8年度 協働のまちづくりチャレンジ事業申請書

※提出された申請書の内容は、個人情報を除いて公開する場合がありますので、ご了承ください。

※太枠の中をご記入ください。

申請部門	一般部門
------	------

※プルダウンから選んでください

【1】事前相談

(1) 市民活動サポートセンターコーディネーターへの事前相談 ※スタート部門は必須、一般・団体連携部門は任意です

コーディネーター名	水本コーディネーター
事前相談日	4月15日

※複数回相談した場合、全てご記入ください

(2) 協働を希望する課への事前相談 ※スタート部門は任意、一般・団体連携部門は必須です

協働希望課名	ダイバーシティ人権政策課
事前相談日	4月20日

※複数回相談した場合、全てご記入ください

【2】応募要件

該当する部門の応募要件の太枠内に、○を記載してください。（プルダウンになっています）

団体要件		
該当の部門	要件内容	
全部門共通	5名以上で構成し、主に金沢市内で活動し、今後も活動を予定している団体である。	○
スタート部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去に採択された団体ではない。	
スタート部門	法人格を取得しておらず、かつ設立から3年以内の団体である。	
一般部門、団体連携部門	運営に関する規約等があり、1年以上の活動実績を持っている。	○
一般部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去3回以上採択された団体ではない。	○
団体連携部門	事業内容にかかわらず、この部門で過去2回以上採択された団体ではない。	
団体連携部門	異なる複数の団体による連携提案である。（申請者・団体概要をそれぞれ記入要）	
事業要件		
該当の部門	要件内容	
全部門共通	営利活動、宗教・政治活動を目的としていない。	○
全部門共通	申請事業について、国、地方公共団体又はこれらに準ずる団体から助成を受けていない。	○
全部門共通	既に地域や団体が実施している事業そのものではない。	○
全部門共通	翌年3月31日までに事業を完了できる。	○
一般部門、団体連携部門	一度採択された事業ではない。（新しい工夫・発展性が見受けられる場合は対象とする。）	○

【3】申請者・団体概要

団体の名称	Take a step
団体名称のフリガナ	テイク・ア・ステップ
構成員	計 5 名
(内訳)	(1) 市内関係者 4 名 (2) その他 1 名
設立年月日(西暦)	2024 年 4 月 1 日 (設立 3 年目)
団体概要	※記入しきれない場合、別に資料(団体パンフレット、HP等)を併せて提出してください。
(1) 設立の目的	私たちは、SDGs5「ジェンダー平等を実現しよう」の達成に向けて、包括的性教育を幼児期から始めることが大切だと考えています。「なんだか変だな」と感じる感覚を大切にしながら、何よりも「自分は大切な存在である」という意識を育むこと。それはやがて、他者を尊重することへとつながっていきます。 私たちは、学校や家庭に加えた“第3の居場所”として、自由で安心・安全に「からだところの権利」を学べる場を提供するために設立しました。
※設立のきっかけや現在に至る経緯等	
(2) 今後の目指して いきたいこと	【団体のビジョン】 包括的性教育とは、すべての人がもっている「からだところの権利」を学び「自分の体のことは自分が決める」ことを理解する教育です。 保育園、幼稚園、小学校、中学校、高校で包括的性教育が教科の一つとなり、幼い頃からすべての子供が学ぶことができることを目指しています。 子どもたちが自分の体を科学的に理解し、心の権利を知ることで、自分を守り男女の性別による無意識の思い込みで将来をあきらめることのない金沢を私たち大人が実現しましょう。 【団体のミッション】 「からだところの権利」を市民のみなさんに知っていただくため ●自由に楽しく遊びながらジェンダーや体のしくみを学ぶ★クラフトづくり★カードゲーム★マンガや絵本を読むコーナー★実験コーナー★産まれる体験をしようコーナー★同意のサイコロ★からだスキャンなどの場の運営。 ●県外で活躍している包括的性教育の講師の講座の開催 ●新たな地元の講師の開催する講座の開催 ●多くの市民に講座を自由な時間に学んでいただくための、オンラインや録画配信などを団体に担う技術の獲得 【今後行っていきたいこと】 ●子育てイベントなどに参加して、チャレンジ事業で制作したワークやゲームをブースで開催していきたい。 ●青少年の施設やSNSで、物価高騰における生理用品購入の負担が女性たちにどのように影響しているのか調査したい。 ●包括的性教育を広めてくれる講師を目指す方々のサポートをしていきたい。
※団体ビジョンや団体ミッション等、将来達成したい理想の状態や目標、団体が果たすべき存在意義等	

活動概要	以下に記入してください。
(1) 主な活動履歴	24年8月12日 「避難所で適切に生理用品を配布せよ！」 講師に性教育コンテンツ制作ユニット「アクロストン」をお招きして、ワークショップと包括的性教育のお話会開催 24年9月27日 「ジェンダー平等な関係の作り方を考える交流会」 講師にWEKプロジェクト理事長・坂井美津江氏をお招きして、「ジェンダー平等の作り方」の講演と参加者による「アンコンシャスバイアスを考える」ワークショップと交流会を開催 25年2月13日 ドコモ市民活動団体助成事業ガールスカウト石川県第7団主催「大人の性教育研修会」にボランティアスタッフ参加 25年3月30日 ドコモ市民活動団体助成事業ガールスカウト石川県第7団主催「大人の性教育研修会」にボランティアスタッフ参加 25年7月20日 ドコモ市民活動団体助成事業ガールスカウト石川県第7団主催 「避難所で適切に生理用品を配布せよ！」 性教育コンテンツ制作ユニット「アクロストン」の考案したコンテンツを基に、ワークショップを開催にボランティアスタッフ参加
	25年8月23日 「月経がつらいのはあたりまえ？」 講師に薬剤師・山本亜弥氏をお招きして薬剤師の観点から包括的性教育の講演と「じぶんおうこく」をつくるワークショップ開催 25年9月28日 「大切なあなたのことを話そう」 講師に助産師・川島真希氏をお招きして小学校低学年対象の包括的性教育の講演と「じぶんおうこく」をつくるワークショップ開催 25年10月5日 KANAZAWA SDGs フェスタ 2025 パネル展示 25年10月12日 長土堀ユースフェスティバル、展示とワークショップ参加 25年11月9日 ボランティア大学校フェスタ 展示とワークショップ参加 26年1月10日 「あいこさん思春期ってなにですか？」 講師の助産師・渡邊安衣子氏と京都・金沢・全国をつないでハイブリット講演会を開催 2週間録画配信をした。
(2) 得意分野・活躍できること	看護師、整体師、ケアマネージャーなど多職種のメンバーとガールスカウト、ボーイスカウト活動経験者が所属しています。包括的性教育の人権分野「からだところの権利」をゲームやクラフトを用いて体験型のワークショップを開催できます。医療関係のメンバーによる「からだの権利」を科学的に正しく楽しく学ぶ仕掛けを作ることができます。
※専門的知見、連携先、アピールポイント等	
HP,SNSのURL	https://www.instagram.com/takeastep2024/ (Instagram)

【４】企画内容

提案事業のテーマ	金沢市未来共創計画の5つの基本方針の中から、該当するテーマを選んでください。 【参考】未来共創計画の一覧はこちら↓ 未来共創計画 基本方針一覧
テーマ（プルダウン）	小テーマ（左セルでテーマを選ぶと、選択肢をプルダウンから選ぶことができます）
基本方針3_人づくり	(2) すべての子どもの可能性を引き出し生きる力を育む教育の実践
※テーマが複数に渡る場合、副次的なテーマを以下から選択してください。	
協働を希望する課名 ※スタート部門は任意	ダイバーシティ人権政策課
企画のタイトル	「わたしの体はわたしのもの」子供の自己決定能力を育む金沢に！
事業の概要	※①～③の流れに沿って、具体的に記載してください。
①現状の地域課題 (金沢市における困りごと、改善したい点、従来認識されていなかった課題 等)	2030年学習指導要領から性教育の障壁となっている「はどめ規定」を撤廃するため有識者が中心となり署名運動が行われ、文部科学省に4万2千筆の署名が提出された。文部科学省では「性交を教えてはいけない」と禁止するものではない」としているが、現在は誰もが学べる環境ではない。 望まない妊娠を防ぐために性交後に服用する緊急避妊薬「ノルレボ」が26年2月2日条件付きではあるが、処方箋不要の市販薬として全国約7千店の薬局やドラッグストアで買えるようになった。緊急避妊薬は服用する時間により妊娠阻止率が変わるため、アクセスが早ければ早いほど効果的な薬である。体に負担をかけずに避妊できる緊急避妊薬も性の正しい知識がなければ使用が難しい。学校で性教育が義務化出来ない現在、まわりの大人たちが知識をアップデートして、子供たちの安心安全な基地となり希望や未来を、あきらめさせることのない社会を実現したい。 出典 朝日新聞 25.11.27 https://www.asahi.com/articles/ASTCW1JH9TCWUTIL00RM.html 日本経済新聞 26.2.2 https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUF027LY0S6A200C2000000/ 性教育と緊急避妊薬に関する意識調査2026（NPO法人ピルコン調査） https://pilcon.org/wp-content/uploads/2026/03/ca82f925463f5e7d4d6ee2144ba20c5d.pdf

②ねらい・コンセプト (①で記載した課題解決のために、 ・アプローチする方向性 ・工夫する点 ・協働する意義 ・市民が共感できる点 等)	《アプローチの方向性》 講座とワークショップを楽しく開催することで、自分や周りの人を守る「からだところの権利」について語り合える場を作りたい。 《工夫する点》 ●生理や精通など体の講座は医療関係者をお招きする（性教育の信頼度が上がる、講演を聞き、楽しく科学的にお話されている方を選びました） ●「からだところの権利」を遊びながら学ぶワークショップの場を明るく楽しく Take a step で開催します。 《協働する意義》 包括的性教育は人権教育、多様性の時代を豊かに生きるための知識ともいえます。協働課と一緒に市民のみなさんに知っていただき金沢に広まっていくことを希望します。 広報面でも一昨年、昨年と多大な力をいただきました。昨年はオンラインの提案など多くのアドバイスをいただきました。 《市民が共感できる点》 すこしずつですが理解者が増えてきました。しかし、まだまだこの教育を知らない方が多い。もっと広げていくことができればと思っています。 「からだところの権利」をまずは大人が理解することは大切です。団体の名前のように「一歩ずつ前へ」広げていきます。
③実施内容案 年間事業スケジュール案について、必要があれば使用してください↓ 事業スケジュールひな形	■専門家によるわかりやすい講座と体験型ワークショップを3回連続開催します。 第1回 講座＋ワークショップ 実施予定時期：26年9月～27年1月 日中 1回 ●おはなし 他県で活躍中の講師から学ぶ思春期親子講座（60分） 講師：霜鳥めぐみ氏 保健師・看護師 「ユースクリニックにいがた わがんあいご」代表 ※別紙1参照 ●ワークショップ 「からだところの権利」をゲームやクラフトで自由に遊べる場（講座開催前45分 出入り自由）※別紙2参照 進行：当団体メンバー 予定場所：石川県立図書館など（親子の集まる図書館などでフォームでも事前に受け付けるが当日参加も受け入れたい） 参加費：無料 対象者（ターゲット）：小学生親子15組、包括的性教育指導者を志す方など成人5名 第2回 講座＋ワークショップ 実施予定時期：26年9月～27年1月 日中 1回 ●おはなし 県内の講師から学ぶ思春期親子講座（60分） 講師：日高球実氏 助産師 ゆずの杜助産所 ※別紙1参照 ●ワークショップ 「からだところの権利」をゲームやクラフトで自由に遊べる場（講座開催前45分 出入り自由）※別紙2参照 進行：当団体メンバー 予定場所：石川県立図書館など（親子の集まる図書館などでフォームでも事前に受け付けるが当日参加も受け入れたい） 参加費：無料 対象者（ターゲット）：小学生親子15組、包括的性教育指導者を志す方など成人5名

第3回 講座+ワークショップ
実施予定時期：26年9月～27年1月 日中 1回
●おはなし 私たちを守る薬の講座（60分）低用量ピル、痛み止め、緊急避妊薬など困ったときに役立つ薬のお話
講師：山本亜弥氏 薬剤師 ※別紙1参照
●ワークショップ 「からだところの権利」をゲームやクラフトで自由に遊べる場（講座開催前と開催中90分出入り自由）※別紙2参照
進行：当団体メンバー
予定場所：石川県立図書館など（親子の集まる図書館などでフォームでも事前に受け付けるが当日参加も受け入れたい）
参加費：無料
対象者（ターゲット）：小学生親子15組、包括的性教育指導者を志す方など成人5名
※お話は大人の方対象、大人の方にお話を聞いていただいている間、子供たちとワークショップを開催

広報・周知の方法：チラシ配布とSNS、金沢市広報媒体の活用、プレスリリース

年間事業スケジュール案：
6～7月 事業企画の整理、実施の準備
7～12月 広報、参加者募集
9～1月 第1・2・3回 講座・ワークショップを開催
2月 報告紙を作成

年間スケジュール案

事業内容・準備	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 広報・周知	事前準備	●	●	●	●	●	●			
(2) イベント実施・成果発表会			●		●		●			●
(3) ふりかえり報告書作成			●		●		●		●	

事業効果 ※金沢市における効果や、事業の対象者が具体的にどうなるか等、記載してください。

期待できる事業効果
(広く市民が共感できるか、他団体や行政・企業とのつながり、協働の効果がみえるか 等)
金沢市男女共同参画推進行動計画「かなざわ未来 奏でプラン2023」から、男女共同参画社会の実現のために、ジェンダーによる固定的な性別役割分担意識の解消に向け、正しい知識を持ち、その必要性を理解することが大切であり、目標に向けて必要なジェンダーの平等について、金沢市の未来を担う子供世代から広めていくことが必要と考えました。私たちは、性をめぐる様々な要素を含む包括的性教育を通して、子どもや若者たちが性にまつわる自分たちの権利、社会の状況、構造を知り、そのうえで意思決定をしたり、自分たちの権利保障について意見表明をし、自他の幸福を実現していくための手助けをすることを目指します。
協働の効果
ダイバーシティ人権政策課との協働で、多くの団体とのつながり、広報では、チラシを多くの施設に配布していただきました。オンラインや録画配信のご提案をいただき実現、多くの方に講座を知っていただく機会をいただきました。
人権教育である包括的性教育を金沢に広めるために、ジェンダー平等に取り組むダイバーシティ人権政策課との協働が効果的であると考えました。
まだまだ団体の信頼度が低いので協働課のお力を借りて認知度を上げていきたいと思っています。

その他 特記事項 (今回応募した動機・熱意、本事業を通して何を得たいか等)	私たちは「性のことは人前で話すものではない」「生理のことは男の人には話してはいけない」と教わっておかしいとも思わず過ごしてきました。ガールスカウトのプログラムで包括的性教育の学びを知り、無意識に当たり前と思っていたことが「おかしい」と感じはじめました。この「おかしい」を周りの人へ話してみると理解が得られない。金沢はまだ生理や精通など、性のことを話題にすることはタブーな段階です。包括的性教育は「境界線と同意」の考え方などの、人権に重きをおいています。私自身も「境界線と同意」を意識しないと子どもの境界線に踏み込んでいることに気づき、ハッとさせられることがあります。包括的性教育の学びは一度きいだけで「できる」ことではなく意識して習慣にしていく必要があります。この金沢で共に学び、学びを広げていくことで、これから大人になる子供たちが、自分の体を科学的に理解し、守り、希望や未来を諦めることなく過ごしてくれることを希望します。
--	---